

令和2年度指導計画(音楽) 学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

| | | | | | |
|--------|------------------------------|-----|-------|---------|------|
| 教科(科目) | 音楽 | 総時数 | 35 時間 | 学年(コース) | 2 学年 |
| 使用教科書 | 教育芸術社『中学生の音楽2』、教育芸術社『中学生の器楽』 | | | | |
| 副教材等 | 新学社『音楽の基本ワーク2年』 | | | | |

1 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動をとおして、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 指導の重点

- ① 仲間と一つの音楽を作り上げる活動をとおして、協調性を育てます。
- ② 様々な作品に触れることで音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。
- ③ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てます。
- ④ 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てます。

3 学習計画

| 月 | 単元名 | 教材 | 学習内容(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|------|-------|------------------|---------------------------------|----|-----------------------|
| 4 | 発声基礎 | | 歌唱を行う上で大切な発声の基礎を学ぶ。 | 2 | |
| | 楽典 | 一年生の復習(1)(2) | 中学一年で習得した楽典を復習する。 | 1 | 小テスト |
| 5 | 歌唱(1) | 『夢の世界を』 | 歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れに乗って歌唱表現する。 | 2 | 発表 |
| | 鑑賞(1) | 『フーガ ト短調』 | 旋律が追いかけるように重なり合っていく魅力を感じ取る。 | 1 | 感想レポート |
| 6 | 歌唱(2) | 『夏の思い出』 | 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌唱する。 | 2 | 実技テスト |
| | 器楽(1) | 『カノン1』『オーラリー』 | アルト・リコーダーの左手、右手の運指、サミングを習得する。 | 2 | |
| 7 | 器楽(2) | 『アニーローリー』『虹の彼方に』 | アルト・リコーダーの左手、右手の運指、サミングをマスターする。 | 2 | 実技テスト |
| | 鑑賞(2) | 『勸進帳』から | 日本の伝統芸能に親しみ、その良さを感じる。 | 1 | 感想レポート |
| 9・10 | 歌唱(3) | 『時の旅人』、他一曲 | 音楽発表会に向けて、混声3部合唱に取り組む。 | 8 | 発表 実技テスト 感想レポート |

| 月 | 単元名 | 教材 | 学習内容(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|----|-------|----------------|---------------------------------|----|--------|
| 11 | 器楽(3) | 『われは海の子』『カノン2』 | アルト・リコーダーの左手、右手の運指、サミングをマスターする。 | 2 | 発表 |
| 12 | 歌唱(4) | 『荒城の月』 | 歌詞や旋律が醸し出す雰囲気を味わいながら歌う。 | 2 | 実技テスト |
| | 器楽(5) | 『ラヴァーズ コンチェルト』 | 共演者の音を聴きながら演奏する。 | 2 | 実技テスト |
| 1 | 歌唱(5) | 『サンタ ルチア』 | 曲想を生かして表情豊かに歌う。 | 2 | 実技テスト |
| | 鑑賞(3) | 『交響曲第5番 ハ短調』 | 楽曲の構成に注目して曲想の変化を味わう。 | 1 | 感想レポート |
| 2 | 歌唱(6) | 『夏は来ぬ』 | 新潟ゆかりの作曲家による名曲を味わう。 | 2 | 発表 |
| | 楽典 | 音楽の約束(1)(2)(3) | 楽譜を読むための知識を得る。 | 2 | 小テスト |
| 3 | 歌唱(7) | 『君が代』『校歌』 | 卒業式、入学式に向けて式歌を練習する。 | 1 | |

4 課題・提出物等

計 35 時間(50 分授業)

- ・鑑賞の際に、レポートの作成を課します。
- ・授業内で小テストを実施します。

5 評価規準と評価方法

| 評価は次の観点から行います。 | | | |
|---|--|--|---|
| (関心・意欲・態度) | (思考・判断・表現)(技能) | | (知識・理解) |
| 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| 音楽活動の楽しさを体験することとおして、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を伸ばし、歌唱、器楽、創作で表すことができる。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽に対する理解を深め、味わって聴くことができる。 |
| <p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み(授業態度、忘れ物) ・授業内での小テスト ・実技テスト ・成果発表 ・提出物の内容 <p>などから、総合的に評価します。</p> | | | |

6 担当者からの一言

歌や楽器を演奏する楽しさ、難しさを感じるとともに、他人と共に一つの音楽を作り上げる活動を通して、より他人の気持ちがわかる人になってほしいと思います。

また、数百年前に作曲され、今日でも「名作」とされる作品の魅力を音楽の授業をとおして感じてほしいと思います。

(担当：木村)